

2016 年度大学コンソーシアム京都インターンシップ・プログラム  
プログレスコースプロジェクト報告書

# 特定非営利活動法人子ども自立の郷 ウォームアップスクールここから

世代を超えて、みんなで作る夏祭りと触れ合いの場に+αの楽しみ作り

同志社大学心理学部 3 年次生 今村新  
奈良大学文学部 3 年次生 上野龍彦

## 目次

1. ここからについて.....	1
2. プロジェクト概要.....	1
3. 実習について.....	1
4. まとめ.....	7

## 1. ここからについて

特定非営利活動法人子ども自立の郷ウォームアップスクールここからは、不登校の子どもたちの自立支援をする学校である。場所は滋賀県長浜市余呉町上丹生という地域にあり、現在生徒9名と、指導員の方3名が生活をしている。ウォームアップスクール「ここから」の校舎は廃校になった旧丹生小学校を再利用している。木曜日から月曜日までの4泊5日の寄宿制で、生徒と指導員の方々は同じ部屋で寝泊まりをする。

学校は自然に囲まれている環境の中にある。ウォームアップスクールここからでは生徒たちは陶芸やカヤックなどの体験や共同生活を通じて、社会復帰することを目指している。生徒は地域の方々との交流も行いながら活動を行い、毎週土曜日には「Cococafe」というカフェを開いている。

## 2. プロジェクト概要

インターンシップの活動はプロジェクトの目的や「ここから」という学校を知ることから始まった。本インターンシップにおいて以下の三つが目標として挙げられた。

- ・「ここから」の生徒や地域の方々が元気になること
- ・「ここから」を訪れた方がほっとするような場所にする
- ・「ここから」を交流の場にする

これらの目標を達成するために企画されたのが、インターンシップ生が作る夏祭りである。

今年の夏祭りのテーマは以下の二つである。

- ・夏祭りを交流のきっかけとし、誰もが楽しめる企画づくりをすること
- ・ここからの活動を地域に発信し、丹生地区の良さを再確認する

## 3. 実習について

インターンシップの活動について、大きく三つの期間に分けることができる。寄宿を行う前と夏祭り開催日まで、そして夏祭り開催日以降の三つである。

### 1. 実習期間前（6月9日～8月17日）

#### 【夏祭りのテーマ】

2016年度の夏祭りのテーマは「光れ！NEW（丹生）ここなつ祭～OHANAで創る夏の思い出～」である。

まず、今年一番の成果として夏祭りに名前を付けたことが挙げられる。「ここから」の「夏祭り」から「ここなつ祭」と命名した。祭りに名前が付いたことにより、地域にさらに夏祭りが根付き、今後も夏祭りが継続することを目標とした。

夏祭りのテーマである「NEW」には丹生地区と、今年から新しく夏祭りを作っていくという二つの意味がある。そして「OHANA」とはハワイ語で家族を意味する。参加者全員が「家族」となり、繋がりを感じてもらうことを目標にした。また、植物の花を祭りのモチーフに使用した。

夏祭りのテーマ決めに伴い、プロジェクト名も実習先の方からいただいたものではなく、実習生で新しく変更した。「人と時をつなげよう NEW（丹生）ここなつ祭プロジェクト」とプロジェクト名を改め、実習を行った。

【プロジェクトに対する取り組み】

実習期間前に行ったことは大きく以下の五つである

- ・フライヤー作成
- ・企画書作成
- ・地域の方々へのアンケート調査
- ・自治会長への挨拶
- ・川狩り

テーマが決まった後はチラシの原案となるフライヤーと夏祭りの企画書の作成を行った。以下は実際に配布したフライヤーである。

**光れ!! (丹生) NEW ここなつ祭 2016**  
**～OHANAで創る夏の思い出～**

開催6回目を迎えた今年、「ここから」の「夏祭り」を「ここなつ祭」と名前を付けました  
 OHANA=(ハワイ語で)家族

**こども対象**  
**<昼の部>**  
**12:00～**  
 食べ物 ・フランクフルト  
 ・わたがし など  
 イベント **地元の野菜を狙い撃て!**  
**丹生☆パラダイス**  
 ～ココドックと共に～  
 丹生地区で採れたお野菜などを景品とした射的コーナー1射を狙ってGETした**お野菜**をパンに挟んだ**ココドック**を食べよう!

**<夜の部>**  
**17:00～**  
 食べ物 ・焼きそば・五平餅  
 ・おつまみ・ビール など  
 イベント 参加者全員の思い出に残る企画を鋭意作成中!  
 19:00以降はスタッフも一緒に楽しめますカラオケ大会も開催!

今回の夏祭りで使用する夏野菜を提供していただける方はご連絡下さい! よろしくお願ひします

**8/28 (日)** ※雨天決行 (校舎内で開催)

場所：子ども自立の郷ウォームアップスクールここから (こども向け)  
 昼の部：12:00～15:00 (参加費無料)  
 夜の部：17:00～19:00 (参加費1000円 小学生未満無料)

【お問い合わせ先】0749-86-3578

図1 地域配布用フライヤー





図2 小学校配布用フライヤー

そしてアンケート調査では、地域の方に昨年の夏祭りの感想と、今年はどうのようなことをしたいのかを伺った。アンケートでは、去年の夏祭りは生徒のみんなとのコミュニケーションが図れた、楽しい時間を過ごせたが準備が大変だった、雨による校舎内の開催が残念であるという回答が得られた。また、今年の夏祭りはどのようなものにしたいかという質問では、今までと同じでよい、ほかの集落へ呼びかけてもいいのではないかと、全員が参加できるものをしてほしい、という意見もあった。

7月24日には川狩りと呼ばれるバーベキューを行った。学校近くの河岸で「野神組」と呼ばれる地域の方々と初めての顔合わせを兼ねた機会でもあった。野神組の方々は日頃から懇意にしてくださっている方々であり、夏祭りの運営についても協力して下さった。

○実習前期（8月18日～8月29日）

8月18日からはここからで4泊5日の宿泊と生徒たちとの交流をしつつ夏祭りの準備を行った。

【メインアート作成】

メインアートはここからとインターン生が共同で作成できるものとして企画した。素材は不織布と学校にあった布を活用している。ここなつ祭のテーマである「花」をモチーフにし、布で大きな三つ編みを作り、「繋がり」を表現した。晴天時はバックネットに引っ掛けて展示する予定であった。



図3 晴天時メインアート完成図

【灯籠づくり】

毎年の夏祭りで使えるものを残したいということで、灯籠を製作することが決定した。近所の大工の方にご指導いただき、木工が得意な男子を中心に作成した。



図4 灯籠

【飲食コーナー】

飲食物についてはここからの生徒が担当した。その中の一つの五平餅は、生徒たちと一緒に作り、交流も図った。

その他、昼の部、夜の部に行うイベントを企画した。また、夏祭りをスムーズに行うために晴天時、雨天時それぞれの配置図や電線図、タイムスケジュールを作成した。

○ここなつ祭当日

日時：8月28日(日曜日)

場所：ウォームアップスクールここから

時間：昼の部 12時～15時、夜の部 17時～19時

ここなつ祭が行われる前日から台風が接近し、雨が心配されたため校舎内での開催になった。そのためグラウンドのバックネットに飾る予定であったメインアートを校舎内に展示した。



図5 メインアート

○昼の部 (12時～15時)

昼の部は主に子どもを対象とした企画を行った。

【うちわづくりコーナー】

参加者の方がシールやペンでオリジナルのうちわを作るコーナーである。台紙には今回のテーマの「ここなつ祭」や「OHANA」という文字が書かれている。テーマの一つである「創る」を取り入れた企画である。

【丹生パラダイス】

今年のここなつ祭の目標である丹生地区の良さを再確認することを目指した。野菜が描かれた的を狙い、描かれている野菜に応じた引換券と交換する。的に描かれている野菜が景品となり、獲得したものを自分で焼いてパンに挟んで食べるという企画である。パンはここからの生徒が作ったものであり、野菜は地域の方からいただいたものを活用した。射的で使われた銃は、昨年と同様に割りばしを用いて作成した。

【魚釣りゲーム】

20種類の魚の絵をプールの中に入れ、割りばしとクリップで作った釣り竿で釣り上げるゲームである。魚の絵の裏には番号が書かれており、その数字に応じた景品を進呈した。



○夜の部（17時～19時）

【記念撮影】

天女の羽衣伝説をモチーフにした顔ハメパネルと今年のテーマを書いたパネルを持ってもらい、記念撮影を行った。写真は後日参加者に色紙としてお渡しした。

【ペア探し】

参加者全員で繋がりを感じられるようなイベントとして企画した。受付で番号付きの光るブレスレッドをお渡しし、自分と同じ番号の方を参加者の中から見つけ出すという企画である。先着3組に景品を進呈する予定だったが、実際は3種類の景品を上回る数のペアができた。

【みんなでダンス】

簡単な振り付けで、曲に合わせて参加者全員で踊るイベントである。参加者全員で一体感を感じられることを目指したメインイベントである。使用曲はBIGIN with アホナスターズの「笑顔のまんま」と、ウルフルズの「バンザイ～好きでよかった～」の二曲である。



図6 みんなでダンスの様子

【飲食コーナー】

焼き物	揚げ物	汁物	その他
焼きそば 焼き鳥 ホットドック(昼の部のみ) 五平餅	フライドポテト カレースナック	豚汁	枝豆 みたらし団子 クレープ *ソフトドリンク アルコール類 *かき氷 *綿あめ

\*は昼の部でも用意した



○実習後期（9月1日～9月12日）

実習の後半では、これまでおろそかになっていた生徒たちとの交流をしながら、「ここなつ祭」の参加者への色紙作り、配布と6年間の夏祭りを振り返る冊子の作成を行った。

#### 【生徒との交流】

野球や周辺の散歩、琵琶湖でカヤック、陶芸といったここからの活動の体験も行った。

#### 【ここなつ祭来場者へのお礼】

ここなつ祭の来場者のお礼として、受付での記念撮影で撮った写真を色紙に張り付け、コメントを添えて参加者のお宅へ訪問をした。色紙をお渡しする中で、参加者へ感謝を伝えるとともに感想をお聞きした。雨の影響で校舎内での開催を惜しむ方や夏祭りに名前が付いたことを喜ぶ方、来年の夏祭りを楽しみにしている方が多くいらしかった。

#### 【冊子作成】

過去の夏祭り6年間の振り返りを冊子にして残した。過去のインターンシップの記録を洗い出し、どんな企画があったのか、またどんな祭りだったのかを調べた。さらに、メールを使って過去のインターン生に、夏祭りで思い出に残っていることや大変だったことなどの感想をお聞きした。ほかにもここからの先生方やコーディネーターの申先生にもインタビューをし、掲載した。冊子は10月29日に完成し、現在はここから訪れた方に見ていただけるようになっている。

## 4. まとめ

○ここなつ祭の良かった点

生徒たちがそれぞれの持ち場で役割を果たすと同時に、空いた時間ではそれ以外の場所で、自分のやり方で祭りの参加者と交流していた。このことから、子どもたちの力強さや積極的な行動力を実感した。

祭りの参加人数は昼の部と夜の部合わせて80名を超えた。ペア探しでは、3等だけの景品では足りないほど多くの方がペアを見つけてくださった。みんなでダンスでは大きく盛り上がる事ができた。参加者の中には、雨による校舎内での開催を残念に思われる方や、来年に向けて楽しみにしていらっしゃる方が多く、ここからの祭りが丹生地区に根付いていることがよくわかった。

○ここなつ祭の悪かった点

反省点の一つとして、祭りの準備でタイムスケジュールや生徒への呼びかけを指導員の先生方に頼りすぎてしまったことが挙げられる。また、夏祭りの中でインターン生が積極的に地域の方々と交流する姿勢を取ることができなかった。そして、夏祭りで使うはずの野菜やうちわを昼の部だけではなく、夜の部で有効活用することができれば、準備したものを無駄にすることはなかった。さらに、企画の準備段階から自分たちの連携不足することや作業が遅いことが目立った。その結果、余裕を持って準備をすることができず、ここからの活動

を、夏祭りを通じて発信していくことと、丹生地区の良さを再確認するという目標を十分に生かす企画を行うことができなかった。

#### ○実習のまとめ

インターン生としては、目的の理解や意識が甘かったことや生徒たちへの呼びかけが自分たちからできていなかったことが大きな反省点だ。指導員の方にお任せするのではなく自分たちが何をしたいかを考え、行動することが重要だったと感じた。

そして、プロジェクトを作っていくなかで、一つのことを決めるのに時間をかけすぎてしまうことが多くあった。この原因は、実習生同士の情報共有不足が挙げられる。自分の考えが相手に伝わっているかを確認することや、他の人が何を考え、行おうとしているのかを知ろうとすることなど、報告、連絡、相談をしっかりと行うことの必要性を身に染みて感じた。

最後に、今回のインターンシップに対して、約6か月ご指導してくださった大学コンソーシアム京都の方々や、コーディネーターの先生方、そして子ども自立の郷ウォームアップスクールここからの皆様に心より感謝いたします。貴重な学びの場を設けてくださり、本当にありがとうございました。